

◇令和6年度募集テーマの事業概要

テーマ（事業名）	1 開かれた議会をもっとみんなに
現状と課題	令和3年度に実施された、「こまえ市議会だより」の認知度を測った市民調査の結果は59.3%。開かれた議会を目的として改訂後の令和4年度と同調査では「GG（ギカイガイド）」の認知度は18.6%に下がっている。これを踏まえ、令和4年8月号より、WEB アンケートの実施、電子図書館への掲載、マチイロへの掲載により周知方法を増やし対応しているものの、令和5年度の調査は39.0%で、上昇は見られたものの、GGとしての認知度が以前の市議会だよりを上回るまでには至っていない。議会の事をもっとみんな（市民）に知ってもらうため、GG＝議会だよりとして認知度を上げたい。
テーマに対する事業の条件・内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・若者及び子育て世代に、GG＝議会だよりと認知されるものの制作（例えばチラシ等） ・若者及び子育て世代に、GG＝議会だよりと認知される特集記事及び表紙の制作（実際のGG）
協働により期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ分野に精通した団体との協働により、課題解決に効果的な事業実施が期待できる。 ・特集記事等の見直しにより、みんなが自分事と親近感を覚えるような広報紙となる事が期待される
協働事業者の条件	<ul style="list-style-type: none"> ・設定テーマに関心があり、課題解決につながる提案を行うことができること。 ・主導的に事業の提案や企画、運営等が実施できること。 ・若者、子育て世代に興味関心を持ってもらえる企画立案ができること。
役割分担	<p>（市の役割） 予算等の確保、事業の調整・実施、広報等</p> <p>（提案者の役割） 事業の企画・調整・実施、広報等</p>
担当部署からのメッセージ	GG＝議会だよりであることが若者及び子育て世代に認知されるような開かれた議会につながるアイデアをお待ちしています。
担当部署名	議会事務局

テーマ（事業名）	2 外国人にやさしいまちづくり
現状と課題	<p>令和6年4月1日現在、市内において1,523人の外国人住民が生活を送っているが、言語の面で地域や学校等でのコミュニケーションや日常生活に困難を抱えている人もいる状況である。</p> <p>狛江市では、平成31年度から日本語での意思の伝達が困難な市民と行政との間で行われる手続き、相談又は面談が的確な意思の伝達に基づいて行われるように、外国語通訳ボランティア派遣事業を行っている。</p> <p>しかし、制度創設から5年間の年間平均派遣数は11件となっており、制度の周知が課題となっている。</p>
テーマに対する事業の条件・内容等	<p>日本に来て言語に困っている外国人に対する外国語通訳ボランティア派遣事業の効果的な周知・啓発</p>
協働により期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに精通した団体との協働により、課題解決に有効な事業実施が期待できる。 ・多文化共生社会の推進として、市民への啓発にも繋がることも期待できる。
協働事業者の条件	<ul style="list-style-type: none"> ・設定テーマに関心があり、課題解決につながる提案を行うことができること ・主導的に事業の提案や企画、運営を行うことができること ・支援が必要な外国人に制度を届ける事業を実施できること
役割分担	<p>（市の役割）</p> <p>予算や活動場所等の確保、事業の調整・実施、広報等</p>
	<p>（提案者の役割）</p> <p>事業の企画・調整・実施、記録、広報等</p>
担当部署からのメッセージ	<p>制度が創設された平成31年の4月1日時点の外国人住民数は1,319人、本年4月1日時点は1,523人と204人増えていることもあり、今後はより一層多様な文化を理解する取組が必要となります。事業の企画や外国人への適切な支援等、国籍を問わず共に暮らしていくことのできる地域社会の実現に繋がる提案をお待ちしています。</p>
担当部署名	<p>企画財政部 政策室 市民協働推進担当</p>

テーマ（事業名） 3 防犯まち歩き（自転車盗対策）	
現状と課題	市内の刑法犯認知件数は、昨年は微増（令和4年309件⇒令和5年316件）となったものの、平成14年をピークに減少傾向にある。件数の内訳を分析すると、316件のうち、自転車盗が110件、約35%と大きな割合を占めている。調布警察署・調布市と情報交換を行い、傾向や対策を安心安全通信や駅頭キャンペーン等で周知するとともに、有効な対策であるダブルロックのためのワイヤー錠を配布するなど対策を講じているものの、令和3年78件、令和4年105件と増加傾向にある。
テーマに対する事業の条件・内容等	イメージは、防災まち歩きの防犯バージョン。 調布警察署と連携し、自転車盗の発生多数地域等をGISを用いて分析し、市内を歩きながら現地確認することで、危険箇所の把握、市民の防犯意識の向上を図るほか、対策を検討、実施する。
協働により期待される効果	市民協働で事業を企画、実施することによって、新たな発想や視点を盛り込んだ事業展開が期待でき、市内の刑法犯認知件数の減少、自転車盗の減少につながることを期待できる。
協働事業者の条件	地域に詳しく、防犯に関心があること。
役割分担	（市の役割） 予算の確保、事業の企画、調整、実施、広報 等 （提案者の役割） 事業の企画、調整、実施 等
担当部署からのメッセージ	自転車盗は、駅前や店舗駐輪場だけではなく、一戸建て住宅の敷地内やマンション・アパートの敷地内の駐輪場でも発生しています。対策について一緒に考えましょう。
担当部署名	総務部 安心安全課 防災防犯係

テーマ（事業名）	4 狛江ブランド農産物の PR 活動
現状と課題	<p>市内の有志農家が GAP（農業生産工程管理）の取組により食の安全を「見える化」することで、消費者の安心の根拠にしようと『狛江 GAP 研究会』を組織している。平成 26 年度から狛江独自の生産工程管理手法によって生産された、狛江ブランド農産物（当時は狛江ブランド野菜）の出荷が始まった。市内での直売やふるさと納税の返礼品等の事業を通し PR を行ってきたが、多品目少量生産のため日常的に購入できる機会が限られていることや、農業生産工程管理の取組自体なじみ深いものではないため広く認知されているとは言えない状況である。狛江ブランド農産物の認知度の向上を図り、更なるブランド化の確立を目指すことが課題となっている。</p>
テーマに対する事業の条件・内容等	<p>狛江ブランド農産物 PR 活動の企画・調整・運営 例 ・モニター活動 ・収穫体験や料理教室の企画</p>
協働により期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・狛江ブランド農産物の認知度拡大 ・都市農政への理解促進 ・地産地消 ・シビックプライドの醸成
協働事業者の条件	<ul style="list-style-type: none"> ・狛江の農業の魅力発信に熱意があること ・SNS 等を活用でき、日常的に発信していること ・様々な年代や性別、考え方を持つ市民の意見を聞き、幅広い市民が参加できる事業を行う意識があること
役割分担	<p>（市の役割） 事業の広報・狛江 GAP 研究会との調整</p> <p>（提案者の役割） PR 事業の企画・調整・運営</p>
担当部署からのメッセージ	<p>安心で安全な狛江ブランド農産物の認知度向上を目指して、PR 活動を一緒に取り組んでいただける団体様からのご提案をお待ちしております。</p>
担当部署名	<p>市民生活部 地域活性課 地域振興係</p>

テーマ（事業名）	5 友好都市交流・越後川口「食文化体験・交流」
現状と課題	<p> 狛江市と新潟県長岡市川口地域（越後川口）は昭和 62 年にふるさと友好都市の提携を結び、「第二のふるさと」として 35 年以上に亘り、事業や相互のイベント参加等を通じて交流を継続してきた一方で、事業内容や参加者の固定化等が課題であり、参加者の裾野拡大と新たな交流を模索する必要がある。 </p> <p> 友好関係をさらに深めるとともに、越後川口の認知度を高めるため、越後川口の自然・環境・風土の体験を通じて、住民同士の交流の活性化と友好都市交流の PR につなげる必要がある。 </p>
テーマに対する事業の条件・内容等	<p> 狛江市内で開催する、誰もが参加できる越後川口の郷土料理づくり体験と交流会事業の企画、調整、運営、PR </p>
協働により期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・市民同士の交流促進 ・友好都市の自然、環境、文化に触れる機会の創出 ・友好都市の PR と認知度拡大
協働事業者の条件	<ul style="list-style-type: none"> ・友好都市との交流推進に理解があること ・SNS の活用等で日常的な情報発信の環境があること ・様々な年代や性別、考え方を持つ市民の意見を聞き、幅広い市民が参加できる事業を行う意識があること
役割分担	<p>（市の役割）</p> <p>長岡市川口支所その他関係者の紹介、施設予約、広報</p> <p>（提案者の役割）</p> <p>事業の企画・調整・運営・PR</p>
担当部署からのメッセージ	<p> 郷土料理などの食文化体験と交流を通じて、ふるさと友好都市・越後川口を知っていただき、互いの地域の理解を深め、友好都市を第二のふるさととして交流を広げていただきたい。 </p>
担当部署名	<p>市民生活部 地域活性課 コミュニティ文化係</p>

テーマ（事業名）	6 高齢者等への見守り事業
現状と課題	<p>近所や地域の付き合いが希薄な社会になったことや、核家族化によって夫婦だけで生活していた後に配偶者との離別や死別により単身となる高齢者が増加していること等の影響から、高齢者の孤独死は特に都市部で増加傾向にあり大きな問題となっている。</p> <p>福祉相談課において、高齢者地域相談事業として、市内3カ所にこまほっとシルバー相談室を設置し、特に高齢者が多く居住する地域での見守り体制を整備しているが、それ以外の地域においても何らかの見守りがなされるよう働きかけが必要である。</p>
テーマに対する事業の条件・内容等	<p>①チラシの作成・配布</p> <p>衣類が汚れたままである・家のごみであふれている・理解力が低下したように感じる等のセルフネグレクトや認知面での低下が懸念される事例、新聞や郵便物が溜まっている・昼夜を通して照明が点灯している（または夜間に点灯されない）・姿を見かけなくなった等の孤独死が懸念される事例、これらに気づいた際の相談（通報）先等をまとめたチラシを、見回りをしている方々等の意見も参考に作成し、全戸配布することにより、早期の相談（通報）につなげる。</p> <p>②講演会の実施</p> <p>福祉施設職員等を講師に迎え、気づきや見守りの「コツ」と連絡方法等について講演会を実施することにより、地域住民の理解を深める。</p>
協働により期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・支援や安否確認を必要としている方の情報をいち早く得ることにより、孤独死に至る前に発見・対応することで、一人でも多くの救える命を救うことが期待される。 ・見守りに関する普及啓発により、市民も「自助・互助・共助」について考える機会となり、自身等の将来のリスクへの備えるきっかけとなることが期待できる。
協働事業者の条件	<p>高齢者支援、見守り活動への関心や理解があること。</p>
役割分担	<p>（市の役割） 予算の確保、事業の調整・実施、広報等</p> <p>（提案者の役割） 事業の企画・調整・実施等</p>
担当部署からのメッセージ	<p>孤独死は早期発見・早期対応することで、未然防止や、その被害を最小限に食い止められるケースも少なくありません。全ての方が安心して安全に暮らせるための提案をお待ちしています。</p>
担当部署名	<p>福祉保健部 福祉相談課 相談支援係</p>

テーマ（事業名） 7 子どもたちの学びの場づくり	
現状と課題	現在、市内には、地域団体の運営による様々な子ども・若者の居場所が点在しているが、不登校・集団不適應・ひきこもりなどをはじめとした様々な生きづらさを抱える子ども・若者の「学びの場」となる得るフリースクールの運営について現在市内にはない状況である。このような状況から、様々な子ども・若者が心地の良い居場所として感じることができる「学びの場」を確保することが必要である。
テーマに対する事業の条件・内容等	子ども・若者の「学びの場」事業を実施する。 あわせて、子ども・若者の「居場所」や相談の場としていくことで、生きづらさを解消していく。 活動場所の確保等は市が行うが、運営については、団体が行うことで協働事業とする。
協働により期待される効果	不登校児の「学びの場」を確保することで、多様で適切な学習活動につなげ、誰一人取り残すことのない子ども若者施策を推進していく。
協働事業者の条件	安定・継続して「学びの場」の提供をすることができ、合わせて、子ども・若者の「居場所」、相談の場を提供することができるNPO法人等
役割分担	（市の役割） 予算、活動場所の確保、事業の調整・実施、広報など （提案者の役割） 事業の企画・調整・実施など
担当部署からのメッセージ	子ども・若者の多様な学びの場や居場所の確保が課題となっています。一緒に子ども・若者の生きづらさを解消していくことのできる団体からの提案をお待ちしています。
担当部署名	子ども家庭部 子ども若者政策課 企画政策係

テーマ（事業名）	8 公園を活用したコミュニティガーデンの創出
現状と課題	<p>市内の公園は、開発事業に際して整備された提供公園が多いものの、個々の面積は小さく、比較的近接している特徴があり、どこも同じような公園となっている課題があります。</p> <p>また、身近にある公園に愛着を持っていただくために、市民や地域が主体となった公園の管理手法を検討していく必要があります。</p>
テーマに対する事業の条件・内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティガーデンを維持するための知恵や知識、植栽のデザインの手法や園芸作業の技術などの講座の開催。 ・上記の講座のほか、花壇の造成、植物の植えつけなどを行い、コミュニティガーデンの創出。
協働により期待される効果	<p>人と人の絆を育みながら、地域を緑豊かで、居心地の良い空間に変え、身近にある公園に愛着を持っていただけるとともに、「地域の庭」としてシビックプライドの醸成につなげていく。</p>
協働事業者の条件	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の庭としてコミュニティガーデンの設置に熱意があること。 ・様々な年代や性別、考えを持つ市民の意見を聞き、幅広い市民が参加できる事業を行う意識があること。 ・SNS等を活用でき、日常的な発信ができること。
役割分担	<p>（市の役割） 予算の確保、講師の調整、事業の実施、材料・道具等準備、広報等</p> <p>（提案者の役割） コミュニティガーデン事業の企画、調整、記録、運営、広報等</p>
担当部署からのメッセージ	<p>身近にある公園等を花や緑でいっぱいにして、「水と緑の狛江」の実現に向けて一緒に活動してみませんか。</p>
担当部署名	<p>環境部 環境政策課 水と緑の係</p>

テーマ（事業名） 9 きれいで安全な歩行空間確保サポート	
現状と課題	<p>狛江市が管理する街路樹のある市内主要道路については機械清掃車両等による定期的な道路清掃を委託にて行っている。街路樹の落ち葉の時期と道路清掃の時期が合うよう調整を行っているが、強風等の突如の荒天等に合わせた道路清掃は、時期の調整が難しい。安全で快適な歩行空間を維持管理していくため、状況に応じて、市内主要道路以外の生活道路を含め、担当課職員にて道路清掃を実施する場合もあるが、日々高まっていく利用ニーズに対応していくには限界があり、市民の皆様にサポートしてほしい。</p>
テーマに対する事業の条件・内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・無理のない範囲で、街路樹のある市内主要道路の下草清掃 等 ・折れ枝、落下等のおそれのある街路樹や不法投棄物の発見、市へ通報
協働により期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・市職員だけでなく、市が委任した協働事業者による簡易除却清掃等を行うことで、市内の良好な道路空間を維持の一助が期待できる。 ・折れ枝、落下等のおそれのある街路樹や不法投棄物の発見により、安全な道路空間の維持が推進される。
協働事業者の条件	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易除却清掃等行える者 ・折れ枝、落下等のおそれのある街路樹や不法投棄物を定期的にパトロールできる者
役割分担	<p>（市の役割） 予算等の確保、事業の調整・実施、広報、委嘱、研修等</p> <p>（提案者の役割） 事業の企画・調整・実施、記録、広報等</p>
担当部署からのメッセージ	<p>狛江市には、魅力ある自然や風景などがたくさんあります。道路もそれらの景観の一部です。魅力ある狛江の景観を守りたい！という思いを持った皆さんからのアイデアをお待ちしております。</p>
担当部署名	<p>都市建設部 道路交通課 道路管理係</p>

テーマ（事業名）

10 施設予約システム更新に伴う使い方の周知について

<p>現状と課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育課のスポーツ施設利用団体、公民館の公民館利用団体、地域活性課の地域センター・地区センター利用団体に対し、市民センター改修後の利用開始に合わせて、施設予約システムを更新を検討している。 ・現在の施設予約システムは下記の課題がある。 <ul style="list-style-type: none"> ○利用施設により申込様式の相違 ○オンラインによる団体登録ができず、窓口のみの申請 ○キャッシュレス決済ができず、券売機で利用料の支払い ○許可書の窓口での受け取り ・予約システム更新について今後詳細の検討を行う予定であるが、予約システム更新を行った際に、新システムの利用方法に対する問い合わせが課題と考えられる。
<p>テーマに対する事業の条件・内容等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインが苦手な方も含め、広く施設を使ってもらうため、新予約システムの利便性を享受できるよう、次にあげる事業を提案団体が企画、実施し、市は負担金を支出する。 ・次の事例にあげる事業を提案団体が企画運営し、市は負担金を支出する。 <ul style="list-style-type: none"> ①施設予約システム変更の周知事業 ②施設予約システム変更の説明事業
<p>協働により期待される効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民（団体）が持つノウハウや人脈を活用した創意工夫のある取組みが期待できる。 ・市民（団体）から市民に事業を実施することにより、市民の困りごとや市民の立場になった気付きに対応することが期待できる。 ・市民（団体）が市民に知識を広める事業自体が社会教育活動となり、社会教育活動の活性化につながる。 ・地域の人材育成、連携が期待できる。
<p>協働事業者の条件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新施設予約システムの使用方法を理解し、周知・説明事業を企画・運営できること。 ・性別、年齢、障がいの有無に関わらず誰もが参加しやすい事業を実施することができること。
<p>役割分担</p>	<p>（市の役割）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算の確保、広報、運営の支援 <p>（提案者の役割）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体として、事業の企画及び運営
<p>担当部署からのメッセージ</p>	<p>新しい施設予約システム導入後、はじめて新システムを利用される方々に向けて、使い方教室や利用者サポートをしてくださる団体さまを募集します。</p> <p>利用者の皆様に寄り添った新システムの導入となるよう、ご協力いただけますと嬉しいです。</p>
<p>担当部署名</p>	<p>教育部 社会教育課 社会教育係</p>